

2019（令和元年）第5回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和元年5月27日（月）
 開 会 16時00分
 閉 会 17時30分
 場 所 横田庁舎 三階 第二委員会室
 出席委員 福田充雄教育長職務代理者 荒金勇吉教育委員
 谷尻圭子教育委員 高橋美奈教育委員 塔村俊介教育長
 委員会事務局 堀谷智樹教育魅力課長 永瀬克己結婚・子育て応援課長
 長谷川史郎教育魅力課長補佐

塔村教育長

（挨拶）

- ・仁多中学校体育館外壁火災事故について（けが人なし。安全管理徹底していく）
- ・校区別再編説明会について（先週から順次開始。）
 - *高尾小のみ開催済み。2021年の統合を提案。通学に関する質問相次ぐ。跡地利用や地域活動についても質疑。スクールバスと奥出雲交通へ委託の比較、具体的なシミュレーションの提示など具体的な検討が必要。
 - *高尾小保護者から2年連続での統合となることへの不安の意見あり。
 - *学校再編の話の中で中学校についても提起しているが、部活動問題を契機に質問が及ぶ可能性あり。

谷尻委員

- ・高尾小説明会参加の保護者から「通学の問題で地域の方々の質問が相次ぎ、複式の是非や統合の是非についてなど真に聞きたい事が聞けなかった」「保護者だけで不安に思うことを質問できる場にして欲しかった」という意見があった。
- ・保護者の質疑を学識経験者が具体的に答えていくような形が理想で、「少人数でもいいところがある」で終わってしまうと、「このままでもいいじゃないか」という意見で終わってしまう恐れがある。

塔村教育長

- ・他の地域からも保護者だけの会を設けたほうが良いとの意見あり。
お互い言いたいことも言えず・・・という雰囲気にならないよう進行したい。

谷尻委員

- ・（住民団体の講演会案内について）教育長も承知で教育委員会も許可を出したのか。町内全小学校へ配布されたのか。

塔村教育長

- ・そのとおり。

谷尻委員	・会の実施自体はいいのだが、主催者が事業所を回って後援の依頼をしていると聞いた。小学校に配布しているのであれば、かなりの部数が出ているのでは。
塔村教育長	・教育委員会として、排除するものではなく、明確に反対の意志を示しているわけでもないので、中止を要請するということはない。
谷尻委員	・講演会でどういう問題があるか、自分たちで見つけ、議論して統合への賛否の意見が出るかもしれない。ということか。
塔村教育長	・自主的に勉強会を開催されるのは良いことだと思う。開催資金については指導する立場ではない。
谷尻委員	・配布については教育委員会に来庁され、学校へ配布してくださいという形で了承して配られたのか。
塔村教育長	・そのとおり。運営についても開催資金についても、(教育委員会が) 後援するということはない。実態として統合反対の会かもしれないが、講演会とは別の話だと思っている。統合への賛否は当然出る話なので、反対の意見もあることは承知すべきだと思う。
谷尻委員	・議論が深まるのであれば、いい機会になると思う。
塔村教育長	・作野先生も小規模校存続への活動もされているし、ある程度タイミングがきたらきれいに治めていくことも必要だというような考え方もされている。学校については、小規模校を中山間地域に残していくべきだという観点でお話しをされると思う。
谷尻委員	・肥後先生は、当時の委員長なので統合の話をされると思う。
塔村教育長	・どちらの話も聞かれるといいと思う。難しい問題ではあるが、賛否ある中でちゃんと受け止めて、どうすべきという事で、各地区の中で動いていただいている方が多い。反対が大きく増えていくということもあるかもしれないが、それはそれとしてじっくり考えていただくことが大事。
塔村教育長	※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言 ※会議録署名委員 荒金委員

事務局	<p>《議事》</p> <p>①奥出雲町立小・中学校等管理規則の一部を改正する規則制定について</p> <p>②奥出雲町就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱制定について</p> <p>資料により説明（①、②とも新元号対応に伴う改正）</p> <p>*質疑なし</p> <p>*全会一致で議案を可決</p>
事務局	<p>《その他諸連絡》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会制度について ・奥出雲町教育委員会会議規則、傍聴人規則について ・令和元年度 児童生徒数について ・教育委員会名簿について ・定例教育委員会開催日変更について（県教育委員会研修開催日のため、7月定例会を7月17日（水）から7月10日（水）へ変更）
塔村教育長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・松江市教育委員会の教職員人事権委譲の協議打ち切りについて ・自治会長会配布資料について（再編方針ダイジェスト版。説明会日程も記載） ・奥出雲町教育魅力化 目指す子ども像（案）について <p>*昨年度設立した奥出雲町教育魅力化協議会にて1年間議論しながら、先般総会にて目指す子ども像（案）についてとりまとめた。</p>
松田推進監	<p>*目指す子ども像（案）策定までの経緯及び内容について説明。</p>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと教育で、幼稚園～小学校中学年までの地域でやっているふるさと教育と ・いうのが漠然としている。 ・各地区の取り組みが類似している。稲作、椎茸以外に独自性があるはず。 ・新任教員は地域のことを知らない。赴任された学校の地域のふるさとを学んでほしい。地域のことを掘り下げなければ、町内どこも同じになる。地域の独自性がほしい。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと教育の充実をもう一度考え直すように呼び掛けている。子供ばかりでなく、教員の学習活動も含め、掘り起こしをやらなくてはならない。 ・幼稚園はどこも田んぼと椎茸を作っている。各幼稚園で本当に必要なものは何か ・ということを考えてもらいたいと提案している。1年で報告ではなく、2ヵ月くらいで報告するシステムを作って魅力化協議会事務局で上手く行くように捉えて ・いきながら、委員に発信していく形が理想ではないか。

松田推進監	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと教育を十数年続けてきたが、この立場になって各校から上がってきた資料を見た。町の人・物・事への体験はたくさんあるが、それを通じて地域への愛着・誇りを育てるのが目的。しかし、町に関する学習を行って終わりというケースがある。 ・ふるさと教育・キャリア教育についての小学校5年生、中学校2年生、高校2年生へ同じアンケートをとった。町の自慢ができるかという質問の結果が中学2年、高校2年の2月でけっこう悪い。何故こんなに悪いのか、中学・高校の教員は驚いていた。体験学習をしても、目的が生徒、教員に浸透していないのではないか。現状を各校に報告し、ふるさと教育に目的・目標を持つようお願いしている。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大変なことはよく分かった。もっと地域性がほしい。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校再編に絡めると、社会教育の役割が大きくなってくる。地域では、これまで学校行事としてやっていたことが、今後どうなるか心配している。 ・地域行事の中に、先生、子供たちが入っていくというのも方法の一つ。 ・たたら体験もそのひとつ。合併前の仁多地域はたたらを一切していない。合併後に高学年で体験するという整理がなされた。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・吾妻山のキャンプ。準備や当日は大変だったが、年々日数が少なくなっている。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から取り止めた。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・やめてほしくなかった。1泊でもいいからしてほしい。せっかく山とキャンプ場があるので1泊でもいいからキャンプをしてほしい。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプは大切なことだとは認識している。キャンプは復活させたいが、他県では課外授業で熱中症による死亡者が出た。学校の責任が予期できる危険性について判断が難しくなっている。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・親子参加のキャンプはどうか。サンレイクでやっている。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・（別地開催は）次の議論になっていくと思う。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・火を起こせない若者がたくさんいる。キャンプの経験や原体験がなくなると人間が本来持っている知恵が伝わらない。防災教育のひとつとして非常に大事なこと。

	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプをしてほしいが、教員の負担を考えると大変だと思う。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校再編で校長会とか教員の役割、教育委員会の役割を大きく変える必要がある。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・やめたら復活するのは難しい。学校でキャンプをしてもいいのでは。
松田推進監	<ul style="list-style-type: none"> ・去年は阿井小と八川小で実施。魅力化協議会としてははっきりとした目的を先生に持ってもらって、それを子供たちに伝えていってほしいと思う。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一つに絞り込むということか。
松田推進監	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんいろんなことをされているので、本当はもう少し少なくてもいい気がする。 ・ふるさと教育は、県の補助金もあって35単位時間5万円が基準。だが、計画をみると105時間くらい出てくる。スリム化を依頼したい。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・体験が繋がっていない部分が多い。田植え・稲刈り・脱穀だけで仁多米を作ったということになるのか。良い機会なので、各学校で整理して欲しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・6月定例会について（6月19日（水）午後3時～） <p>（定例会終了）</p>
<p style="text-align: center;">会 議 録 署 名</p> <p style="text-align: center;">荒金勇吉</p> <p style="text-align: center;">塔村俊介</p>	